

【武蔵学園後援会報告】

武蔵学園後援会では、2017年6月以降、「後援会の在り方」について検討してまいりました。

高等学校同窓会が2017年に、内部に母校支援委員会を設けて、募金推進体制を強化するにあたり、従来募金推進にあたってきた後援会との役割分担が不明確で混乱を招くのではないかと同窓会員の声があがったことから、後援会による募金推進体制を解消し、同窓会に一本化することを決定しました。一方、大学同窓会では、同窓会とは別に後援会が募金推進を行う従来の体制維持を求める声も多く、2017年の段階では、両同窓会の意見が一致せず、双方で話し合いを重ねて一致点を見つけてから新しい活動を進めていくことになり、後援会活動は事実上休止しました。

その後、武蔵学園百周年記念事業推進資金募金の最終段階を迎え、高等学校、大学ともそれぞれのやり方で募金が推進され、2020年7月末には百周年を待たず、目標額の24億円を達成することが出来ました。このような状況を踏まえ、今後、今後の募金推進のあり方等について、関係者一同で再度話し合った結果、概ね下記の合意に至りました。

- ◎ 武蔵学園後援会は、母校創立百周年の2022年3月末を以て活動を終了し、廃止する。
- ◎ 学園への寄付金取り扱い窓口は、2018年4月設置の学園事務組織「募金事務局」とする。
- ◎ 2022年度より、あらたに両同窓会の懇親を図るための組織として「新組織」を設ける。

以上の合意を受け、武蔵学園後援会役員会を2020年11月30日、臨時に開催（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による開催）し、議案である「武蔵学園後援会は、母校創立百周年の2022年3月末を以て活動を終了し、廃止する」ことが承認されましたことをご報告いたします。

なお、2021年3月には、上記の役員会の決定を受け、法人理事長と後援会長の連名の文書を、後援会を通して寄付された2,150名の皆様に、今までご協力いただきました感謝をお伝えし、引き続き、武蔵大学、武蔵高等学校中学校へのご支援のお願いをさせていただきました。

武蔵学園後援会事務局

2021年3月

武蔵学園後援会を通じ
ご寄付をいただいていた皆様へ

武蔵学園後援会の終了と新組織発足のお知らせ

学校法人根津育英会武蔵学園
理事長 根津 公一
武蔵学園後援会
会長 島田 精一

謹啓 早春の候 皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、武蔵学園の教育研究活動にご高配をたまわり、ありがとうございます。

おかげさまで、2007年から続けてまいりました武蔵学園百周年記念事業推進資金募金は、昨年、目標の24億円を達成いたしました。これも皆様のご支援のたまものと存じ、厚く御礼申し上げる次第です。

さて、学園では、これまで武蔵学園後援会を中心に募金活動を進めて参りましたが、学園創立100周年を機に、体制を見直し、2022年3月を以て武蔵学園後援会を、終了することを2020年11月武蔵学園後援会役員会でご承認をいただきましたので、ここにご報告申し上げます。

2022年4月からは後援会とはまったく別の組織として、武蔵大学同窓会と武蔵高等学校同窓会の懇親を図るための組織を発足する予定です。

1975年発足以来45年にわたる後援会活動へのご協力で深謝申し上げますとともに、今後とも各同窓会からの募金へのお声かけの下、武蔵学園の教育研究活動を引き続きご支援たまわりますよう、お願い申し上げます。

謹白

<東武カード・口座振替によるご寄付>

後援会を通じて呼びかけをいたしました東武カード・口座振替による学園へのご寄付は、そのまま継続をお願いいたします。今後とも学園募金事務局から自動引落しの事前確認連絡を、引き続き実施させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。